

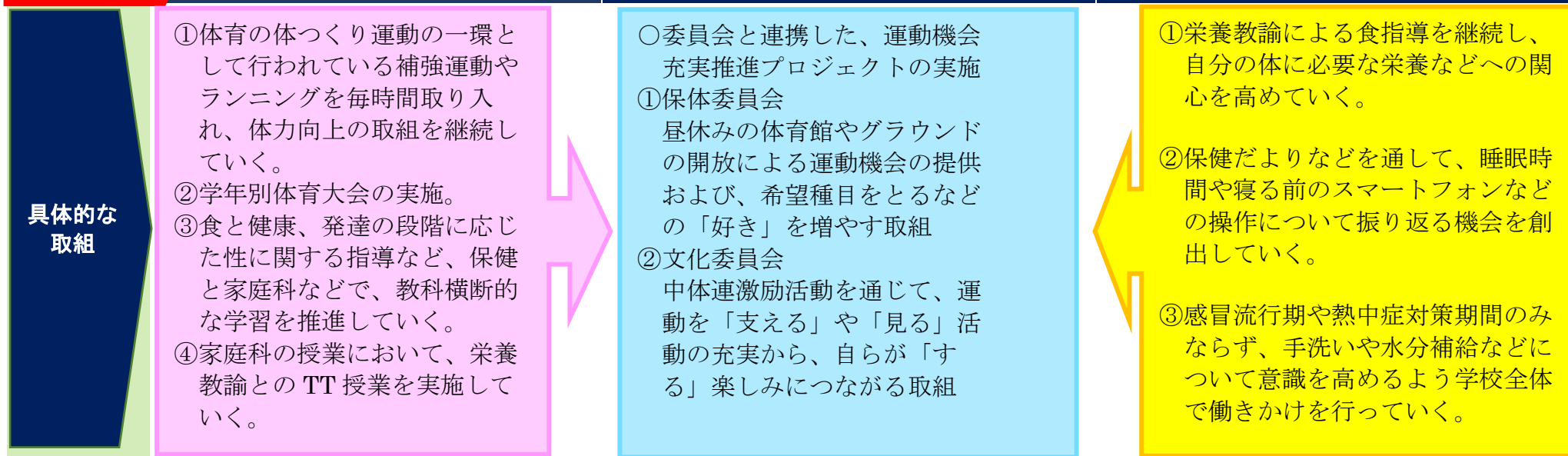
令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：35002

学校名：月寒中学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○札幌市の平均と同程度もしくは上回った種目 上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・持久走・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ	○札幌市の平均を下回った種目 握力・20mシャトルラン	筋力は平均を下回ったが、残りの種目は札幌市の平均と同程度以上の数値となった。特に持久走とハンドボール投げは全国平均を上回り、体育での補強運動や部活動での活動の成果が見られた。
体力・運動能力 <女子>	○札幌市の平均と同程度もしくは上回った種目 反復横跳び・ハンドボール投げ	○札幌市の平均を下回った種目 握力・上体起こし・長座体前屈・持久走・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び	ハンドボール投げは全国平均と同程度であるが、ほぼすべての種目で札幌市の平均を下回った。特に持久走は全国平均から10ポイント以上下回っているため、体育の授業以外でも体を動かす機会が必要である。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	○「中学校卒業後、自主的に運動したい」に肯定的な回答をする子どもの割合 全国→本校 男子 87.3%→88.7% 女子 76.0%→75.1%	○体育の授業を除く1週間の総運動量が60分未満の「ほとんど運動をしない子ども」の割合 R6→R7 男子 10.4%→9.9% 女子 23.4%→23.4%	体育の授業以外の場面でも運動をする習慣が身に付いていけるように、運動をすることの大切さや実際に行う方法について学習する必要がある。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------



家庭・地域との連携・協働	<p>・昨年度に引き続き、健康づくり、ケガの防止に関する学習において、地域の整骨院からゲストティーチャーを招き、子どもの実態を踏まえた指導の充実を図る。</p>
---------------------	--